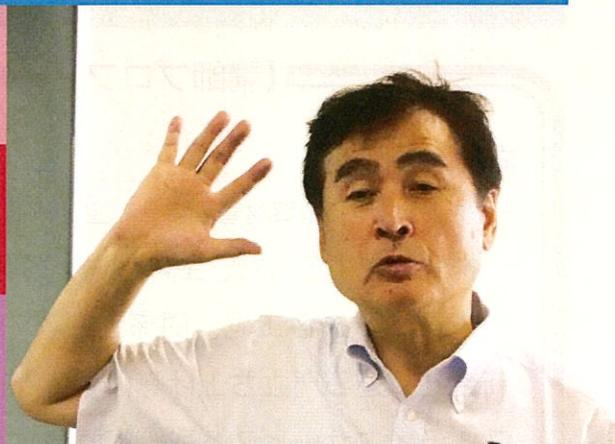


成功する

「間接材」「副資材」

調達改革



東京 2020/11/13 (金)

講師

向川 虎隆 氏

一般社団法人 日本資材管理協会 主任研究員

10:00 ~ 16:30

連合会館 2階 205 会議室

いわゆる「間接材」とは工場副資材、事務用品等の物品、工事や物流等のサービス、通信、旅費等経費関連支出など、非常に多岐にわたります。間接材の調達はその特質から「直接材」と比較して、一般的に改革への取り組みが遅れており、それゆえ取り組み次第では改善の効果が大きく期待される分野です。しかし、現実的には改革に取り組むものの、その成果が定着しないままとなっている事例が多く見受けられます。

本セミナーでは、参加者の間接材調達に関する課題を討議したうえで、改革を成功させるための戦略的ポイント、また具体的なコスト削減や業務合理化の進め方等について解説します。工場副資材など製造業の事例が多くなっていますが、サービス業においても課題は共通であり、参考にさせていただけます。

また調達改革には、会社または組織レベルで行う戦略的取り組みと、担当レベルで行う実践的な取り組みがありますが、双方の観点から解説を進めてゆきます。

はじめに

参加者の現状認識と課題に関する討議

資料：「間接材」調達改革に関する事前診断表

1. いまなぜ「間接材」の調達改革か

- 1) 「間接材」調達改革の背景
- 2) なぜ間接材の改革はうまくゆかないか
- 3) 期待される調達部門の役割

2. 「間接材」とは何か

- 1) 「間接材」の定義
- 2) 「間接材」の種類と範囲
- 3) 「間接材」の特性と取組課題

3. 間接材調達改革を成功させるための戦略ポイント

- 1) 管理可能「間接材」の最大化
- 2) 支出実態の「見える化」
- 3) 旗振りトップダウン、活動は調達部門主導で
- 4) 調達プロセスの明確化と合理化
- 5) 成果の評価と横展開

4. 「間接材」コストダウンの実践的進め方

- 1) いろいろあるコストダウン手法
- 2) 間接材コストダウンに有効な三大原則
- 3) 基本は競争原理活用
- 4) 究極の競争リバースオークションの活用法
- 5) 「まとめ」と「標準化」の進め方
- 6) サービス材のコスト分析とコスト算出基準の作り方
- 7) サプライヤー情報の引出し方
- 8) 見逃しがちなプロセスコストの削減
- 9) 品目別のコストダウン事例
 - ①工場消耗品・副資材
 - ②事務用品・OA用品
 - ③安全衛生用品
 - ④保守点検・工事修理費
 - ⑤物流配送費
 - ⑥通信・旅費・保険費

5. 間接材調達のシステム化・合理化の進め方

- 1) システム化をどう進めるか
- 2) 調達システムのいろいろ
- 3) システム別の調達プロセス
- 4) オペレーションコストはいくらかかるか
- 5) MROシステムの活用
- 6) システム構築にあたっての留意点



一般社団法人 日本資材管理協会